

日能研	4年		
	算数		
学習内容	5月の学習内容 11回 長さ 12回 長方形・正方形の面積 13回 角 14回 三角形と角		
家庭学習ポイント	11回の学習では、長さについての学習を行います。単位は日常の生活から意識しておくようにしましょう。12回の学習では長方形、正方形の面積を学びます。「たて×横」で面積が得られることを学びますが、なぜ「たて×横」で面積が求められるのかを理解しておくことが大切です。単位についても丁寧に、間違わないように学習を進めましょう。13回の学習では角度について学びます。具体的には「垂直・平行」について学んだ後、交差する直線によって作られる「対頂角・同位角・錯角」についても学んでいきます。それぞれの角が等しいという知識がもちろん大切なのですが「なぜ等しくなるのか」をしっかりと説明できるようにしておくことが大切です。14回の三角形と角については、三角形の内角の和が180度であること、また外角定理も学びますが、こちらも「〇〇が理由で外角定理が成り立つ」と、図などを使って自分の言葉で説明できるようにしておきましょう。三角形の外角定理はその形から「スリッパ」と呼ばれますね。4年生の算数は非常に基本的な原理について多くを学習しますが、疑問を持たず丸覚えばかりにならないよう、気をつけたいところですね。		
課題の把握と解決策	チェック1	長さの単位は身につけていますか？	チェック
	解決策	1m=100cm、1cm=10mmくらいから理解し、身近なもののおよその長さがわかるといいですね	□
	チェック2	正方形や長方形の面積が「たて×横」で計算できる理由を説明できますか？	チェック
	解決策	「1cm四方の正方形の面積が1cm ² 」を基本に、方眼紙を使って説明してみましょう	□
	チェック3	面積とまわりの長さを勘違いすることがないですか？	チェック
	解決策	問題文の文末に注意しましょう。問題文を音読する習慣も効果的です	□
	チェック4	三角形の外角定理について説明できますか？	チェック
	解決策	今後の学習で何度も出てくる問題になります。おうちでの学習方法を変えてみましょう。	□
	チェック5	2種類の三角定規のすべての内角を答えられますか？	チェック
解決策	一方は正方形の半分、もう一方は正三角形の半分、とおぼえておくといいですね	□	
日能研	4年		
	国語		
学習内容	5月の学習内容 11回 心情 12回 話題① 13回 話題② 14回 具体例		
家庭学習ポイント	11回までは物語文の学習です。11回では文章から心情の理解を進めます。文章中から心情を汲み取ることのできる表現など探してみましょう。登場人物の関係性や、時代背景なども判断に役立つ指標です。場面（の変化）も登場人物の心情を表現するのに使われます。12回～13回では論説文・説明文の「話題」について学びます。以降さまざまな読解技術を学び、16・17回で学ぶ「結論」につながる入り口にあたります。文章の全体を通して、筆者が大切にしていることや伝えたいことが何なのかを考え、手がかりを探していきましょう。14回では具体例の文章中での役割を学びます。説明文や論説文では、筆者が言いたいことをわかりやすく伝えるために「具体例」が示されます。つまり具体例が挙げられているということは、そこに1つ筆者の言いたいことが隠れているということになりますね。以降順を追って、文章を「詳しく読む」（精読）技術を学んでいきます。		
課題の把握と解決策	チェック1	心情の読み取りを苦手にしていませんか？	チェック
	解決策	登場人物のセリフ、人物どうしの関係、場面（の変化）などに注目しましょう	□
	チェック2	論説文・説明文の「話題」（筆者が何について話したいのか）をつかめていますか？	チェック
	解決策	話題についてはほとんどの場合、冒頭の段落で示されます	□
	チェック3	複数の話題について書かれた文章で混乱していませんか？	チェック
	解決策	「話題が1つ」と思い込まず、複数話題があるかもと考えて読みましょう。	□
	チェック4	話題の変わり目を正しくとらえられていますか？	チェック
	解決策	「さて」「ところで」などのことばに注目しましょう。	□
	チェック5	具体例が「筆者の言いたいこと」と勘違いしていませんか？	チェック
解決策	具体例は筆者の言いたいことを、わかりやすく身近な例で表現したものです。	□	

日能研	4年		
	理科		
学習内容	5月の学習内容 6回 水中の小さな生き物 7回 生き物と春夏秋冬		
家庭学習ポイント	5月末まで、生物分野の学習が続きます。6回は、水中で生きている小さな生き物、プランクトンなどについて学びます。代表的なプランクトンについては、形と名前が一致する状態にしておくことが大切です。「ミジンコ」などは多くのお子さんが知っていると思いますが、初めてでも「ミカツキモ」や「ラップムシ」「ツリガネムシ」など、その姿から名前を覚えられる生物も少なくありませんね。またプランクトンについては、植物プランクトン（葉緑体を持ち自分で光合成によって養分を作る）と動物プランクトン（自分で運動し、植物プランクトンなどを食べて生きる）があること、またミドリムシのように光合成もして自ら動き回るものもいることを、整理して記憶することが大切です。ベン図などにまとめてみるのも良いアイデアです。7回は「生き物と春夏秋冬」で、生物と季節について横断的に学習します。このような学習のしかたは4年生のときにしかできないので、体験的に知っているものなどと結びつけて理解しておくといよいでしょう。近年の入試問題は、このように横断的な総合問題が主流になってきています。		
課題の把握と解決策	チェック1	プランクトンの図を見て名前を答えられますか？	チェック
	解決策	「名は体を表す」といったものも多いので工夫して覚えましょう	□
	チェック2	プランクトンの大きさについて、おおまかなイメージを持っていますか？	チェック
	解決策	動物プランクトン>植物プランクトンは最低限知っておきたいですね	□
	チェック3	葉緑体を持ち、自分でも運動できるプランクトンを2つあげられますか？	チェック
	解決策	ミドリムシとボルボックスを覚えておきましょう	□
	チェック4	「夏鳥」を3つあげられますか？	チェック
	解決策	ツバメ・カッコウ・ホトトギスなどを覚えておきましょう	□
	チェック5	昆虫の冬越しについて、ある程度のイメージを持っていますか	チェック
解決策	モンシロチョウ＝さなぎ、アリ・ハチ＝成虫で巣の中など、冬越しに適した姿と場所だと覚えよう	□	
日能研	4年		
	社会		
学習内容	5月の学習内容 6回 変化に富んだ海岸線 7回 海に囲まれた国、日本		
家庭学習ポイント	5月の4年生の社会は、日本の海岸線と日本を取り巻く海（海流）について学習していきます。太平洋側は黒潮（日本海流：暖流）と親潮（千島海流：寒流）、日本海側は対馬海流（暖流）とリマン海流（寒流）が出会う位置に日本列島配置しています。それぞれの海流に乗ってやってきた魚がいること、また寒流と暖流が出会う「潮目」にたくさんプランクトンが発生するため、このことが日本を水産大国にしているということをしっかり学んでいきましょう。また、今後地方別の地理の学習に入っていきますが、地理の学習をするときには必ず出てきた地名を地図上で確認し、自分でも白地図（日能研が出版している「白地図作業ノート」がよいと思います）上に書き込んで整理していくという習慣をつけていくことが大切です。6回と7回の学習をそのスタートにさせていただけるとよいかと思ひます。		
課題の把握と解決策	チェック1	日本をとりまく4つの海流（太平洋側・日本海側）の名前をすべて答えられますか？	チェック
	解決策	黒潮（日本海流：暖流）、親潮（千島海流：寒流）、対馬海流（暖流）とリマン海流（寒流）です	□
	チェック2	日本の代表的なリアス海岸を答えられますか？	チェック
	解決策	三陸海岸、志摩半島、若狭湾、宇和海沿岸、大村湾です。場所も必ずチェックしておきましょう	□
	チェック3	日本が水産大国である理由を、島国であるということ以外に説明できますか？	チェック
	解決策	付近を流れる暖流と寒流と「潮目」ということばを使って説明しましょう	□
	チェック4	地図帳と白地図を学習に併用していますか？	チェック
	解決策	ここからの地理の学習をぜひ上記のスタイルで行っていきましょう	□
	チェック5	育成テストのなおしはできていますか？	チェック
解決策	「テストでいい点を取るのと同じくらい（それ以上に）なおしは大切」と教えてあげましょう	□	